

令和2年度 平塚中等教育学校 不祥事ゼロプログラム

取組課題		目標（達成すべき内容）	行 動 計 画	実施
1	交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止	交通事故の発生を未然に防止して、社会人として法規範を守り、行動する。	① 資料を活用して、法規範の遵守することの大切さを知る職員全員対象の研修会を設ける。 ② 飲酒を伴う会合には必ず自家用車での参加を取りやめ、自転車の飲酒運転も重大な犯罪になる認識を持たせるよう啓発する。 ③ 交通事故・違反の事例に基づいた研修会を実施し、不祥事により引き起こされる事態の重大さを知る機会とする。	
2	財務事務等の適正執行	適正な私費の徴収・執行を行う。	① 私費担当者会議を開催して、私費執行手順を確認し、職員全員にも私費会計の事故防止の研修を実施する。 ② 業者選定委員会を活用し、業者・予算等が適正に選定されるようにする。 ③ 私費会計基準に基づき、支出伝票・出納簿等の書式・手順の整理、通帳等の管理体制の徹底を図る。	
3	体罰・不適切指導の防止	生徒の人権を尊重し、真摯な態度で指導に当たる。	① 資料を参考に、職員全員対象の研修会を設ける。 ② 生徒の人権に配慮した指導について日常的な相互点検を行う。 ③ 行事等を計画する際にその企画が人権に配慮したものとなるよう配慮する。	
4	職場のハラスメントの防止	職員間の健全な人間関係の構築を目指す	① セクハラ・パワハラ・マタハラ等の発生に対する日常的な点検作用を促す研修会の実施 ② 職員の人権を尊重した適切な職員管理を行う。	
5	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権を尊重した対応を身につける。	① 人権尊重の意識を高め、生徒へのわいせつ行為・セクハラ行為を許さない教育の実践に向けて教職員の意識付けを行う。 ② 携帯電話、電子メール等の不適切な使用がないよう啓発をする。事例を参考に、職員全員に報告・周知する。 ③ スクールセクハラアンケートを実施し、実態把握に努め、事実確認と適切な対応を行う。	
6	個人情報等管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。	① 関係グループが研修資料を作成し、個人情報の保護・管理について研修会を設ける。 ② 個人情報管理規定の運用について所属職員全員を対象とした職場研修を実施する。 ③ 個人情報の収集と使用について適正に行われるように指導する。 ④ 携帯電話、電子メールの不適切な使用がないよう研修会を実施し啓発をする。 ⑤ USBメモリー等記録媒体の不適切な使用がないよう管理する。 ⑥ 教職員個人の電子データ等の保守意識を高め、やむを得ず個人情報等を校外に持ち出す場合の心構えの徹底を図る。	
7	業務執行体制の確保	公務遂行に対して確認・点検を実施する。行政文書を適切に処理する。	① 行政文書の取り扱いに注意し、作成・保管・管理の徹底を図る。 ② 同僚性を意識し、情報共有を心掛け、業務の協力体制を高める。 ③ 資料等を配付し、職員が事故防止のための意識を持つ研修を実施する。	
8	法令順守意識の向上	地域社会の一員として自覚をもって行動する。	① 公務員として公僕の意識を高め、法規範を守り行動することを周知徹底する。 ② 常に、公私の別を明らかにし、県民の疑惑や不信を招く行為はしないよう周知徹底する。 ③ 所属職員全員を対象とした、規律違反の事例に基づいた研修会を開き、公務員としての自覚を促す。	
9	入学者選抜、成績処理及び進路関係に係る事故防止	書類の作成及び取扱いについての適切な処理	① 入学者決定検査はマニュアルを厳守した適切な対応を徹底できるように説明会を実施し教員間のコミュニケーションを図り事故防止に努める。 ② 定期テスト、成績処理等は事故の及ぼす影響の大きさをとらえた事故防止を喚起し、確認・点検の徹底を図る。 ③ 進路関係については揺らぎのない指導と、関係書類の適切な扱いについて点検体制を再確認し、共通理解を徹底し適切な処理を行う。	